

2023年11月8日

京都府知事 西脇 隆俊 様

北山エリアを考える府大関係者の会

京都府立大学構内における学生本位の体育館と校舎の早期建設を求める要望書

私たち府大関係者の会(学生有志の会、卒業生有志の会、教職員有志)は、京都府策定の「北山エリア整備基本計画」において、府大の老朽化した体育館を建て替えて1万人収容規模の巨大商業アリーナの建設が構想されていることにたいへん危惧して、多くの学生からアンケートを集めたり、「巨大商業アリーナ建設を見直し、府立大生の要望に沿った体育館を建てて下さい」と要求して、たくさんの署名を集めてきました。そして、4月26日の「共同体育館整備に係る第3回意見聴取会議」における座長提案がこの間の学生の意見を反映したものであると考えて、5月19日にはこの座長提案を受け止めることを、体育会・文化会の学生とともに京都府に要望しました。

そして、その後に京都府は「京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会」や「府体育館主要競技団体協議会」を通じて、この大規模アリーナを向日町競輪場敷地内に建設することも検討していると報じられています。

現在、1970年建設の府大体育館は耐震基準を大きく下回っているために授業で使用できず、運動部だけが使用し、授業は仮設体育館で凌いでいる状態です。また、体育館よりも古くて耐震基準を満たさない1962年建設の校舎でも研究教育が行われており、これらは全国の大学の中でも最低基準と言えるものです。もしも地震などが発生すれば、学生や教職員の命が危険にさらされてしまう現状です。また、巨大商業アリーナ建設計画がなければ、2024年度には「共同体育館」が竣工・供用を開始できたかもしれせん。

そこで、私たちはあらためて京都府に対して以下のことを強く要望いたします。

1. 府大構内に学生本位の普通の体育館を早く建設して下さい。
2. 老朽化して危険な校舎を安心・安全な校舎に早く建て替えて下さい。
3. 北山エリア整備基本計画における、巨大商業アリーナ建設を見直してください。